



女性
活躍

家庭
両立

男女
職場

子育て
支援

「人は財産＝人財」 社員一人ひとりを大切にする会社 NDソフトウェア株式会社



▲TV会議導入により効率も向上



◀サポートセンターの様子



この人に
聞きました

人材開発部
中川 静香さん

会社設立当初から掲げる 男女平等

昭和54年の会社設立当初から男女平等を掲げており、現在も社員の3分の1は女性である。新卒の採用においても女性の積極採用を行い、その結果、準社員雇用の女性も多く在籍しているが、能力とやる気のある者に対しては正社員として登用する制度を設けている(過去3年間で6名の実績がある)。

また、女性社員に対し、積極的に資格取得を奨励することにより、職域拡大を推進している。合わせて女性の役職・管理職への登用も推進しており、現在、課

長、係長、主任として活躍している者もいる。

「人は財産＝人財」を重要なテーマとして掲げ、社員一人ひとりを大切に、働きやすい環境作りにも力を入れてきたNDソフトウェアでは、平成19年にリニューアルした本社社屋にもその考えは反映されており、社内の至る所に安心して仕事に打ち込める環境が整っている。

リフレッシュルームの設置や、TV会議を導入し、移動ロスを減少させた会議室、妊婦中の社員に気を配り、マタニティー駐車スペースを確保し、社員が安心して働ける環境を大事にしている。

会社独自の制度内容で 社員の子育てを支援

女性活躍をさらに推進しようと全国にある各営業所の女性社員が集まり、「PANDAプロジェクト」を発足。女性がいきいきと働く企業No1を目指している。

産休前と復職前に上司との面談を設け、無理のない仕事と家庭の両立を会社としても支援し、復職にあたっての不安も解消している。パソコンを利用している在宅勤務制度も、本格的に導入することで動いている。

地域の小中学校や高校からの要請に応じ、会社見学や職場体験を積極的に受け入れているほか、地域のスポーツ振興に対しても積極的な支援を行っている。

山形県総合運動公園陸上競技場のネーミングライツ(命名権)を取得しており、『NDソフトスタジアム山形』として広報宣伝にも活かしている。

(平成23年取材)

社員の Voice



安心して仕事復帰ができます

サポートセンター係長 佐藤佳子さん

弊社は結婚・出産後も安心して仕事が続けられることが魅力。私は3度の出産を経験しましたが、今もキャリアを活かして、仕事を続けられています。会社、そして周囲のサポートがあったからこそ、安心して仕事復帰ができました。

NDソフトウェア株式会社

住 所:南陽市和田3369
代表者:代表取締役 佐藤 廣志
業 種:ソフトウェア開発
従業員:342名(女性125名、男性217名)
<http://www.ndsoft.jp/>

企業より一言

介護・福祉・医療のトータルヘルスケアソリューションを提供します。「お客様第一主義」を基本方針として、介護・福祉・医療分野の業務支援ソフトウェアの開発・販売・運用サポートを中心に、だれもがすこやかに暮らせる社会の実現を目指した事業展開を行っています。

社員の家庭生活、地域生活の充実を積極的にバックアップ!

株式会社ブルーパシフィックソフトウェア



▲ネットショップ店長は女性が担当



◀ネットショップのトップページ



この人に
聞きました

代表取締役
浅倉 誠司さん

男女ともに働きやすい 職場環境を目指して

プログラム作成やウェブの構築といったパソコンを使って行う業務であることから、専門的な技術を駆使して顧客をサポートする必要があり、社員個人にかかる負担も大きく、交代要員の確保が難しいという業界ならではの事情もあるが、社員一人ひとりの事情をくみ取りフレキシブルな対応を採ることで、よりよい職場環境の実現に取り組んでいる。

山形いきいき子育て応援企業に登録したことで変わったことは、社員の中に「さらに職場が良くなるのではないか」という前向きな期待感が芽生えたことである。これは登録による確かな効果の一つとして実感している。

女性らしいきめ細やかな 感覚で売上に貢献

決して「男の仕事」という限定された業種ではないが、それでも男性比率が高い業

界であることは間違いないという。そんな中、現在3名の女性社員が在籍し、ウェブ担当として活躍する傍ら、同社が展開するネットショップの業務も兼任している。ネットを通して幅広い層の顧客と繋がりを持つネットショップ運営という業務において、女性らしいきめ細やかさで、取り扱い商品の拡充など、売上の増加に貢献している。

また、社員の採用時には、以前は女性社員が1名だったところを、同性間での意見交換も重要と考え、女性社員を2名増員した。

就業時間を見直し、 仕事と家庭の両立を応援!

女性社員の雇用環境を整備するため、子育て中の社員が情報通信技術 (IT) を利用し、自宅でも仕事ができるように環境を整備した。この在宅業務などのリモート環境の整備により、多様な働き方が実現している。このリモート環境を整備したことで、東日本大震災の時にはフレキシブルな対応が可能となるという思わぬ効果もあった。

平成19年からは、就業時間を1日当たり

15分短縮し (以前は就業時間が9時から18時までだったのを、17時45分までに変更した)、全社員の仕事と家庭の両立を図った。これは、当時、託児所へ子どもを預けていた女性社員が、少しでも早く子どもを迎えに行けるように配慮しての変更だったが、「余裕を持って子どもを迎えに行ける」ととても喜ばれた。

また、休日労働や時間外労働については、極力しないように声掛けしている。声掛けだけでは実効性がないため、社員一人ひとりの業務量を分析し、思い切ってスタッフを2名増員するなどの対策を取った。さらに年次有給休暇の取得を促進するため、6月から9月の間に、年次有給休暇を4日間取るように社員へ徹底している。また、社長自らが学童保育など地域貢献に積極的なこともあり、「社員にも家庭はもちろん、地域における生活を充実させて欲しい」という強い思いがある。そのためにも、普段から時間外勤務の縮減に気を配ることで、社員のワーク・ライフ・バランスを目指している。

(平成24年取材)



株式会社ブルーパシフィックソフトウェア

住 所:山形市上町5-5-27 フォレストネットビル101
代表者:代表取締役 浅倉 誠司
業 種:電気通信事業
従業員:10名 (女性3名、男性7名)
<http://www.bpssoft.co.jp/>

企業より一言

「セキュリティ・システムを導入して事足りる」という安易な風潮を否定し、情報セキュリティの必要十分条件としてトータル・セキュリティ・ソリューションを唱え、各企業様に合ったセキュリティコントロールの導入をサポートしてまいりました。お客様の企業価値向上に貢献しております。



女性
活躍

家庭
両立

男女
職場

子育て
支援

職場環境の整備こそが サービス向上のための生命線！ 社会福祉法人一幸会



▲社内講習会の模様



◀社内講習会の模様



この人に
聞きました

事務局長
伊藤 治さん

職員がモチベーション高く 働ける職場環境を実現

平成2年に設立、老人介護事業を中心に事業を展開する一幸会。特別養護老人ホーム、デイサービス及びホームヘルパー派遣事業を軸に、近年は小規模多機能型の事業所や地域包括支援センターなどへ事業拡大、高齢者向けサービス付き介護住宅や保育園といった事業進出も視野に入れながら活動している。

この業種は女性が多いことから、時代に先駆けて、職場環境の整備に取り組んできた(平成18年当時は努力義務であった一般事業主行動計画を策定している)。

育児休業中の代替要員の確保や育児休業中の職員に対する職場復帰プログラムを策定し実施するなど、以前より職場環境の整備には積極的だったが、「山形いきいき子育て応援企業」の登録を経て、職場内の雰囲気がいい方向に変わったことを実感している。

「仕事自体は、ある程度決まったことの繰り返しになります。その中で利用者サービスをどう向上させるかは一つの課題です。そして、サービスとは設備ばかりでなく、

目に見えない人の力が生み出すものでもあります。その力を発揮してくれるのがまさしく職員なわけですから、それぞれがやる気を出せる職場環境というのは、当社にとって生命線になるわけです。」と事務局長の伊藤さんは語る。職員がモチベーション高く働ける職場環境の整備は、サービスの向上のために不可欠なものであると同時に、他施設との差別化を図る重要な鍵にもなっている。

能力主義の公平な人事評価 臨時職員から正規職員への 登用制度の整備

男女の別なく、意欲・能力のある職員が指導管理業務に従事しており、女性の役職比が80%と非常に高い割合を占めている。また、臨時職員から正規職員への登用制度を設け、人事評価と登用試験を平成17年4月採用時から実施し、現在まで7人の実績がある。

人材育成については、施設内での講習会や勉強会を通して個々のスキルアップを図っている。資格取得も、勉強会などのバックアップはもちろん、取得後にはそれを評

価し、手当に反映させ、頑張りに対して相応の評価をすることで、職員のやる気の喚起に繋げている。

低い離職率を生み出した 労働環境の改善策！

この業種は、人の出入りが激しいと言われている。その要因のひとつとして拘束時間の長さがある。それを改善するため、特に激務とされる夜勤の拘束時間を16時間から、半分の8時間に見直しを行い、身体的な負担の軽減を図った。その思い切った施策が功を奏し、同社における離職率はかなり低い。

社員と会社との結びつきを深めるため、館内のリニューアル時(ロビーと浴場)には職員から意見を吸い上げ、その意見を反映させている。施設のロゴデザインも、職員から公募したものを採用する。

地域との結びつきにも積極的で、小、中学生の職場体験の受入れに加え、地元の高校の授業の一環として学習の場を提供している。その学生が卒業後に就職する、そんな効果も生んでいる。(平成25年取材)



社会福祉法人一幸会

住 所: 鶴岡市美原町4番40号
代表者: 代表取締役 渡邊 清
業 種: 福祉
従業員: 106名(女性88名、男性18名)
<http://www.ikkoukai.or.jp/>

企業より一言

この地域でもひとり暮らしの高齢者や高齢夫妻だけの世帯も増えてきています。平成2年の開設以来、地域福祉のために何ができるか、何をすべきかを考え実践してきました。今後も少子高齢化問題が深刻化するなかで、当法人がなすべきことを考え、従業員一同真剣に取り組んでいきます。